

株式会社コシダカホールディングス

東証プライム（証券コード2157）

2025年8月期第2四半期 決算補足説明資料

2025年4月10日(木)

アジェンダ

1 2025年8月期第2四半期 決算概況

2 2025年8月期 予想

1. 2025年8月期第2四半期 決算概況

【Executive Summary】

■ 2Q営業利益は過去最高、初の**50億円**台

前期の一時的営業外収益の反動、シンガポール子会社清算損等で経常、当期は減益

カラオケ事業：積極出店継続、既存店も**客数を伸ばし、11.2%増収**

人件費、電気料金上昇等経費率上昇。管理適正化で下期生産性改善へ

不動産管理：既存物件堅調、新規物件収益化で、グループテナント増床を吸収、増収増益

その他事業：飲食店舗各店が堅調で増収、営業利益黒字化

■ 一株当たりの配当金：中間、期末各12円、年間24円（6円増配）

4期連続増配、過去最高額（株式分割を考慮）

【2025年8月期第2四半期連結業績】

■ 売上高未達分、営業利益ショートも、**営業利益は過去最高の50億円台に到達**

- ①積極出店継続による今期・前期新店収益の上乗せ。近畿新店群は認知度向上含め各店の客数増加傾向
- ②既存店客数も増加傾向を維持、客単価は想定以上に低下 ⇒ 値上げを伴わない客単価上昇を目論む
- ③人件費、水光熱費は単価上昇が表面化、全般に経費率上昇 ⇒ 管理適正化で生産性改善へ
- ④前期の一時的営業外収益の反動で経常利益減益：解約金収入▲405百万円、為替差益▲131百万円
- ⑤特別損失計上で当期純利益減益：シンガポール子会社清算損確定差分467百万円（引当時との為替変動分）

（単位：百万円）

項目	2024年8月期 2Q	2025年8月期 2Q	前年同期比		2Q計画比	
			増減	増減率	計画値	達成率
売上高	30,578	34,004	+3,426	+11.2%	34,473	98.6%
売上総利益	8,086	8,594	+508	+6.3%	-	-
販売費及び一般管理費	3,251	3,480	+229	+7.0%	-	-
営業利益	4,834	5,114	+280	+5.8%	5,519	92.7%
（売上高営業利益率）	15.8%	15.0%				
経常利益	5,542	5,300	▲242	▲4.4%	5,498	96.4%
（売上高経常利益率）	18.1%	15.6%				
親会社株主に帰属する当期純利益	3,896	3,192	▲704	▲18.1%	3,574	89.3%
（売上高当期利益率）	12.7%	9.4%				
1株当たり当期純利益（円）	47.79	38.97	▲8.82	▲18.4%	43.83	88.9%

【セグメント別 第2四半期連結業績（前年同期比）】

- カラオケ事業：積極出店継続、既存店も客数を伸ばし**11.2%増収**。
平均時給、電気料金上昇等経費率上昇。管理適正化で下期生産性改善へ
- 不動産管理：既存物件堅調、新規物件収益化で、グループテナント増床を吸収、増収増益
- その他事業：飲食店舗各店が堅調で増収、営業利益黒字化

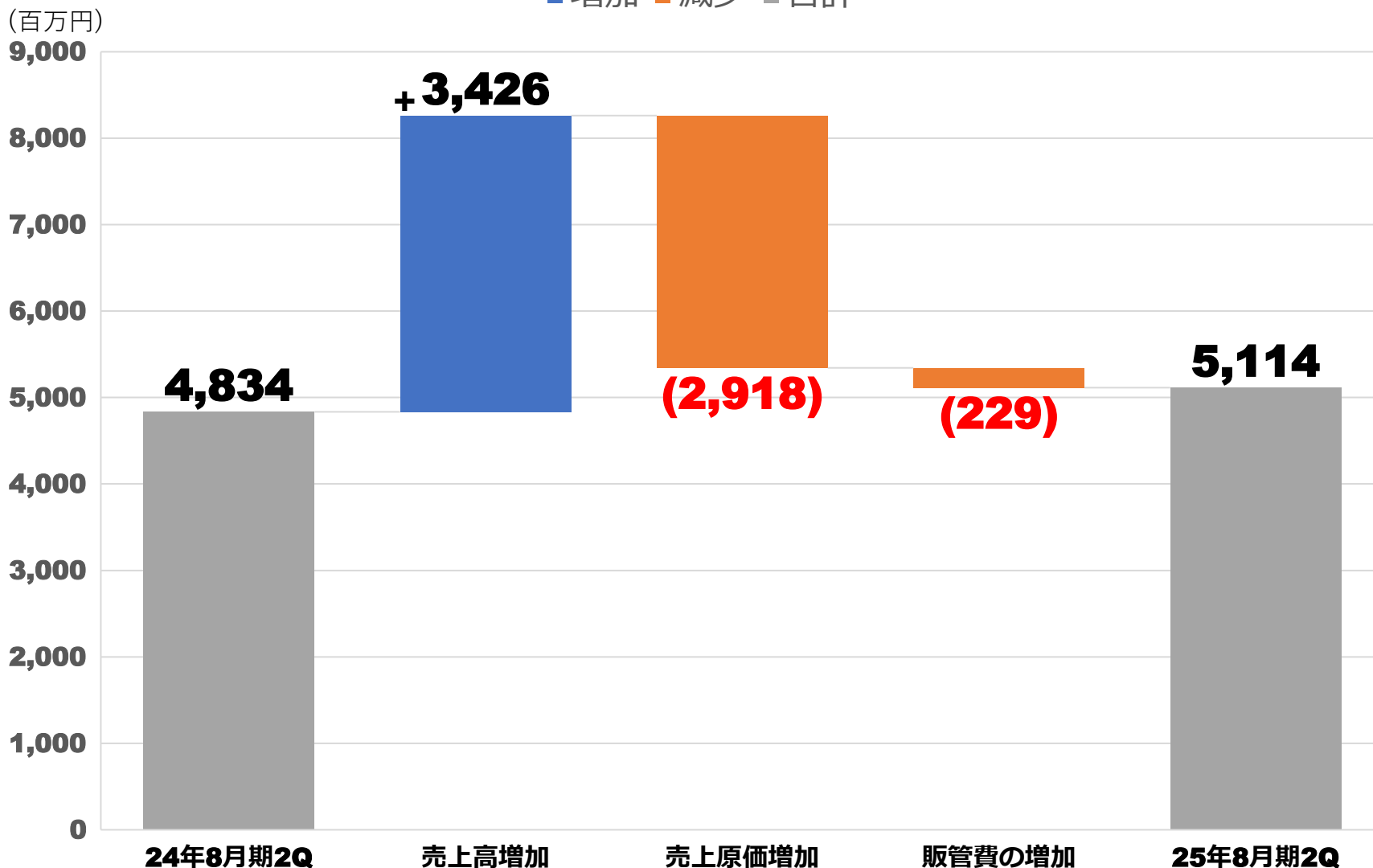
(単位：百万円)

項目	2024年8月期 2Q	2025年8月期 2Q	前年同期比		2Q計画比	
			増減	増減率	計画値	達成率
売上高	30,578	34,004	+3,426	+11.2%	34,473	98.6%
カラオケ	29,590	32,900	+3,309	+11.2%	33,313	98.8%
不動産管理	749	917	+168	+22.4%	956	95.8%
その他	434	442	+9	+2.0%	452	97.9%
調整額	△ 196	△ 255	△ 59	-	△ 249	-
営業利益	4,834	5,114	+281	+5.8%	5,519	92.7%
カラオケ (売上高営業利益率)	5,549 (18.8%)	5,649 (17.2%)	+99	+1.8%	6,112 (18.3%)	92.4%
不動産管理 (売上高営業利益率)	40 (5.4%)	86 (9.4%)	+46	+112.1%	162 (17.0%)	53.0%
その他 (売上高営業利益率)	△ 39 -	17 (3.9%)	+57	-	17 (3.8%)	99.9%
調整額	△ 716	△ 637	+79	-	△ 772	-

【2Q営業利益 増減要因（前年同期比）】

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

(単位：百万円)



■ 主な売上高の増加

- ✓ 新店： +2,241
- ✓ 既存店： +1,068
- ✓ 不動産・その他： +176
- ✓ 調整等： △59

■ 主な売上原価の増加

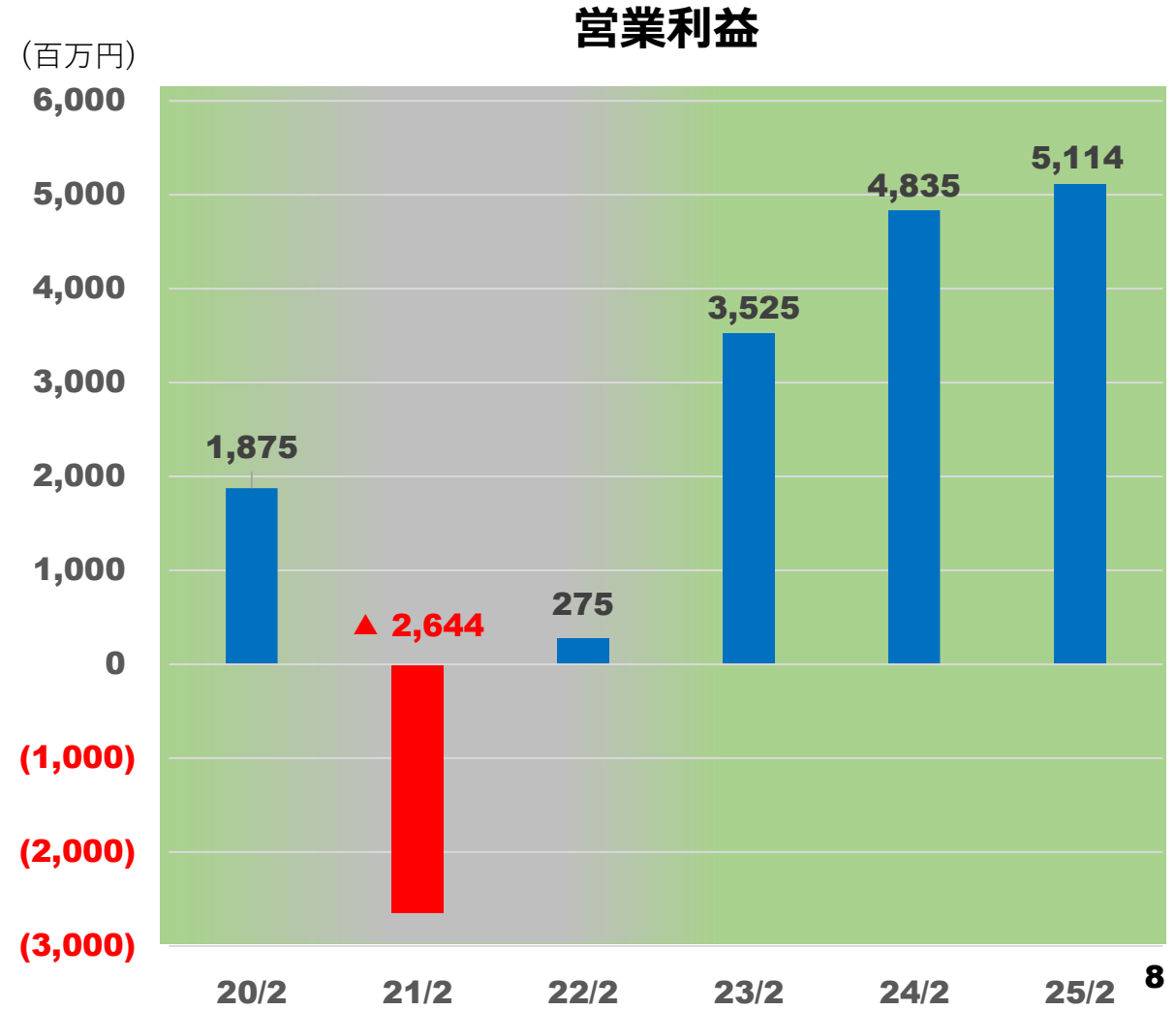
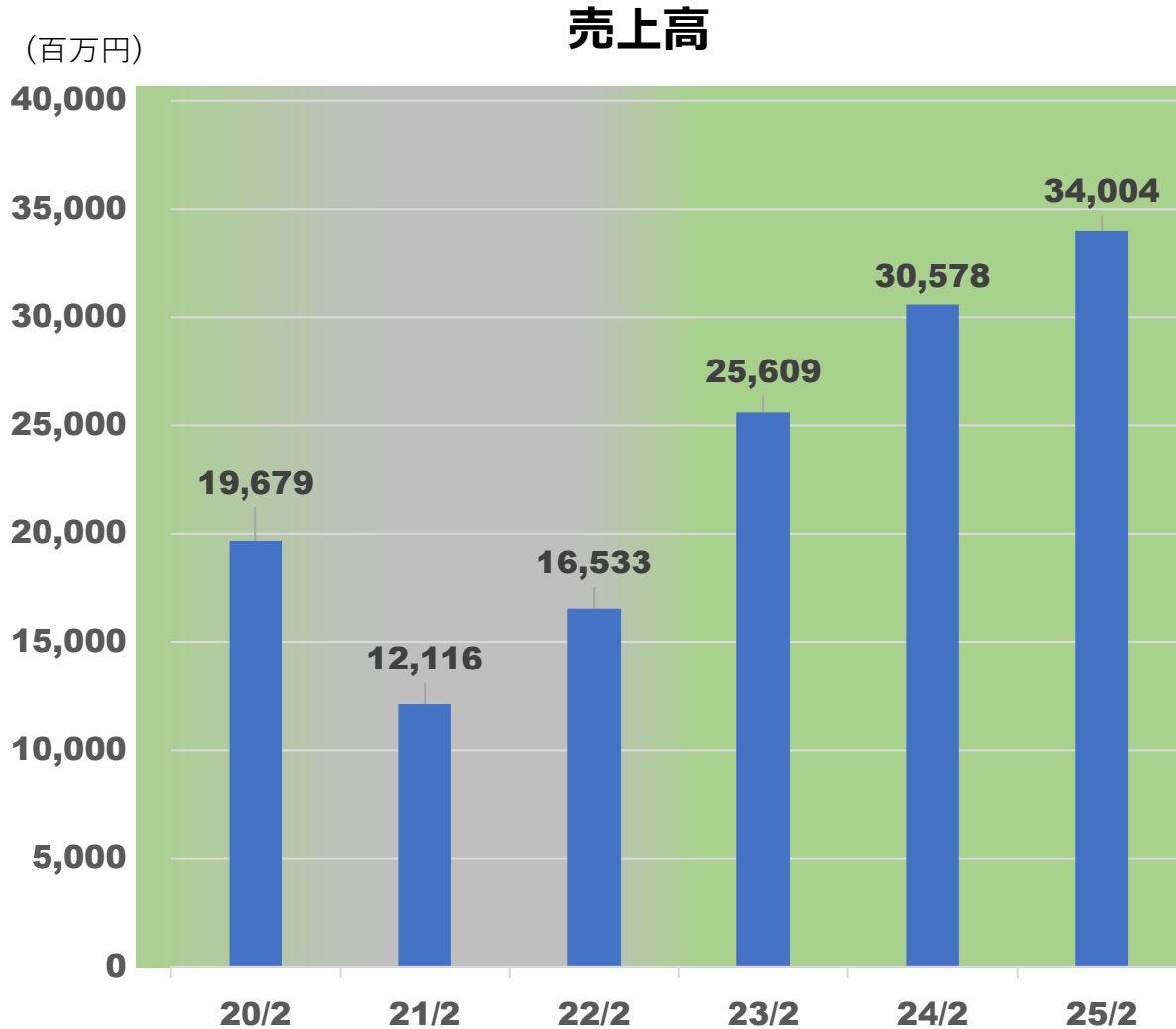
- ✓ 人件費： +939(+12.8%)
- ✓ 地代家賃： +644(+12.7%)
- ✓ 各種手数料： +321(+48.2%)
- ✓ 水道光熱費： +288(+18.3%)
- ✓ 商品原価： +135 (+5.5%)
- ✓ 減価償却費： +107 (+5.4%)

■ 主な販管費の増加

- ✓ 広告宣伝費： +77(+19.7%)
- ✓ IT関連費： +60(+38.7%)
- ✓ 人件費： +53 (+5.9%)
- ✓ 支払報酬： +51(+96.9%)

(※ご参考)【第2四半期連結業績の推移】

- 売上高、営業利益ともにコロナ禍前を上回るV字回復を実現後も、増勢を持続
- 営業利益は50億円を超え、過去最高を更新



【カラオケ事業】

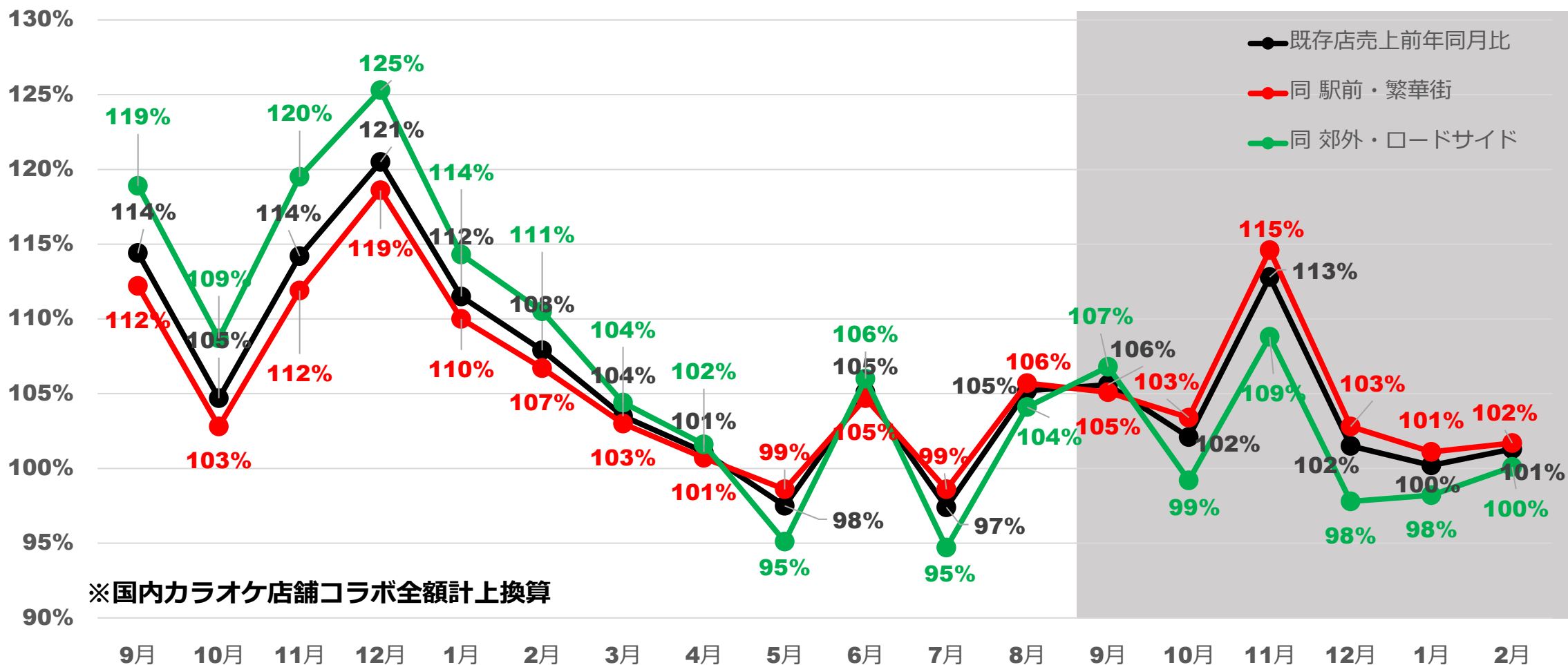
- 既存店客数増加と継続出店による新店売上積み増しで二桁増収
- 競合状況を見つつ、店舗レベルにて最適価格を調整⇒客数の増加維持
- 平均時給、電気料金等上昇と、客単価低下で原価率が上昇、営業利益は横ばい

(単位：百万円)

	21/2旧区分		22/2旧区分		23/2		24/2		25/2	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	11,274	-	15,660	-	24,249	-	29,590	-	32,900	-
売上原価	12,090	107.2%	13,578	86.7%	18,320	75.6%	21,540	72.8%	24,453	74.3%
売上総利益	△815	-	2,082	13.3%	5,928	24.4%	8,049	27.2%	8,447	25.7%
販管費	1,266	11.2%	1,461	9.3%	1,863	7.7%	2,500	8.4%	2,797	8.5%
営業利益	△2,062	-	620	4.0%	4,065	16.8%	5,549	18.8%	5,649	17.2%

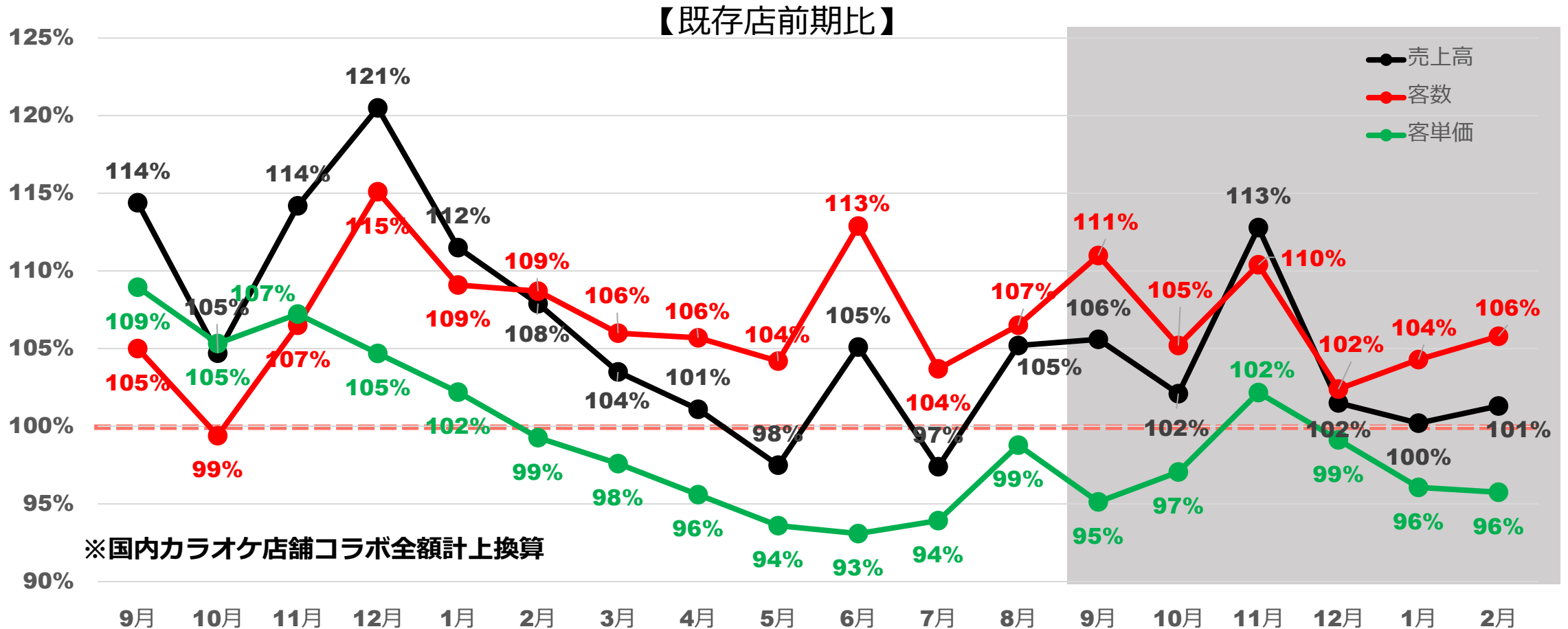
【既存店売上前年の推移】

- 2025年8月期第2四半期累計の既存店売上高(各月ベース)は前年同期比で103.5%
前期にコロナ後の本来的水準に到達し、そこからの伸びを持続
- 前期は繁華街店舗に遅れてリベンジ需要を取り込んだ地方ロードサイド店は改めて構造的な伸び悩みが顕在化



【既存店売上高・客数・客単価の推移】

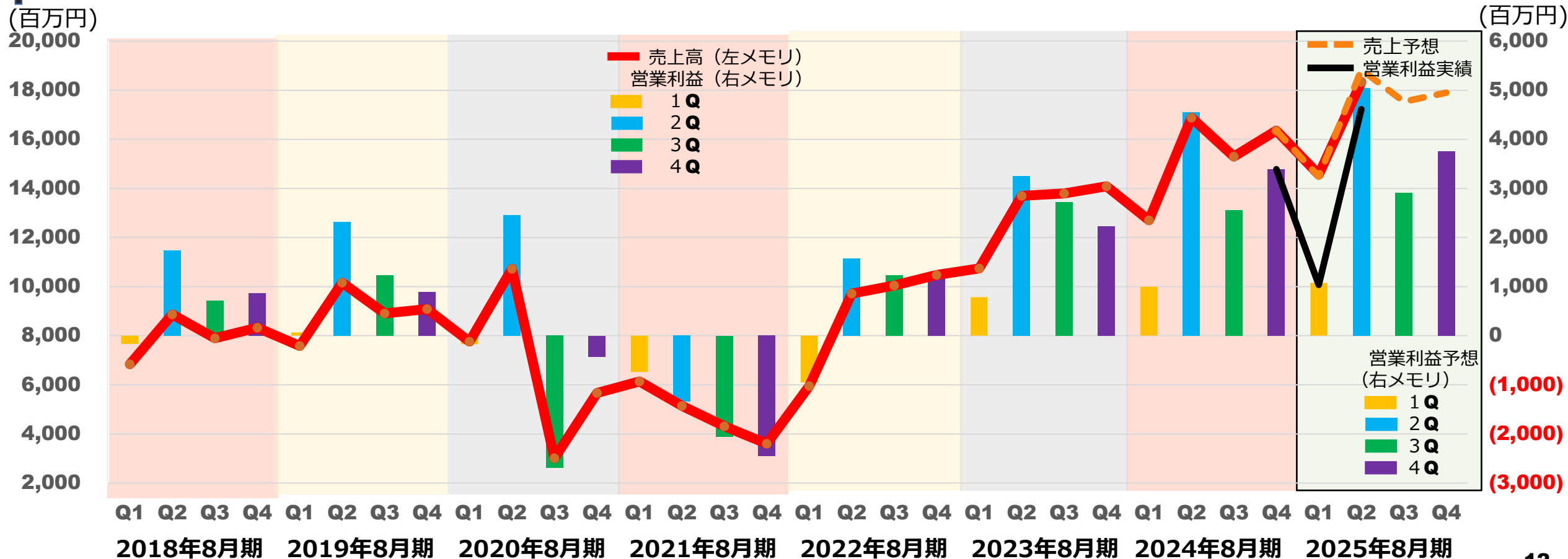
- 既存店前期比は売上103.5%、客数106.3%、客単価97.5%
- 客単価ピークとなる前年の年末年始商戦からの価格調整が概ね一巡



【カラオケセグメント四半期ベース業績推移】

- 年末年始商戦を含む2Qに売上・利益が集中、お盆を含む夏季商戦の4Q、春休み・GWの3Qと続き、1Qが最も低い水準
- 最閑散期の1Qは、コロナ前は赤字だったが、2023年8月期以降3期連続黒字化の上、前期、今期と増益

カラオケセグメント四半期ベース業績推移



【店舗・ルーム数状況】

- 物件要因の出店時期調整が重なり、繁忙期（12月、1月）出店は各1店舗
- 店舗の大型化と駅前繁華街への出店を継続 ⇒ 店舗運営の効率化をはかる
- 閉店店舗はリロケ対象店：大型化、立地改善等（ロードサイド⇒駅前のケースも）

店舗数 ルーム数推移		24/8月期		25/2月期		増減	
		店舗数	ルーム数	店舗数	ルーム数	店舗増加数	ルーム増加数
まねきねこ	駅前/繁華街	380	10,685	395	11,207	+15	+522
	郊外/ロードサイド	278	6,761	281	6,896	+3	+135
	計	658	17,446	676	18,103	+18	+657
ワンカラ		6	207	6	207	0	0
合計		664	17,653	682	18,310	+18	+657

出店・退店数		24/8月期累計	25/8月期 1 Q	25/8月期 2 Q	24/8月期 2 Q累計
出店数	駅前/繁華街	45	10	6	16
	郊外/ロードサイド	6	6	1	7
	合計	51	16	7	23
退店数		7	3	2	5

【海外業績】

- 東南アジア各国で積極出店継続：
マレーシア2店舗、タイ1店舗を出店
- フラッグシップ店舗の出店で、認知度の確立と、大型化により収益性を改善
- 米国での物件を特定、1店舗目出店準備中（建築関係、諸申請）
- フィリピン現地法人設立準備中。並行して物件探索中。

【Metro Point Kajang店
(マレーシア)の様子】



【Pearl Point Shopping Mall店
(マレーシア)の様子】



【Future Park Ransigt店 (タイ)の様子】



(単位：百万円)

	24/8月期						25/8月期		
	2Q累計			通期			2Q累計		
	売上高	営業利益	店舗数	売上高	営業利益	店舗数	売上高	営業利益	店舗数
海外全体	553	27	22	1,225	107	22	723	55	25
韓国	54	△5	4	123	△11	4	53	△11	4
マレーシア	327	19	13	710	67	13	456	62	15
タイ	133	15	3	304	54	3	153	6	4
インドネシア	28	△2	2	88	△3	2	61	△2	2

※マレーシア、タイ、インドネシアは非連結

不動産管理・その他事業

【不動産管理事業】

- 主要既存物件はほぼ満床にて推移
⇒ アクエル前橋、MANEKI新橋ビル、フルーレ桜木町
- 新規物件取得による収益・経費増加

(単位：百万円)

	21/2		22/2		23/2		24/2		25/2	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	305	-	536	-	753	-	749	-	917	-
売上原価	456	149.5%	460	85.8%	610	81.0%	697	92.9%	809	88.2%
売上総利益	△151	-	76	14.2%	143	19.0%	53	7.1%	108	11.8%
販管費	11	3.6%	7	1.3%	14	1.9%	12	1.6%	22	2.4%
営業利益	△162	-	68	12.7%	129	17.1%	40	5.4%	86	9.4%

【その他事業】

- 「銀だこハイボール酒場」「カフェエクラ」等の飲食店舗業績は概ね堅調な推移
- ウェルティンメント新店、温浴閉店等に係る一時費用がなくなり、黒字化

(単位：百万円)

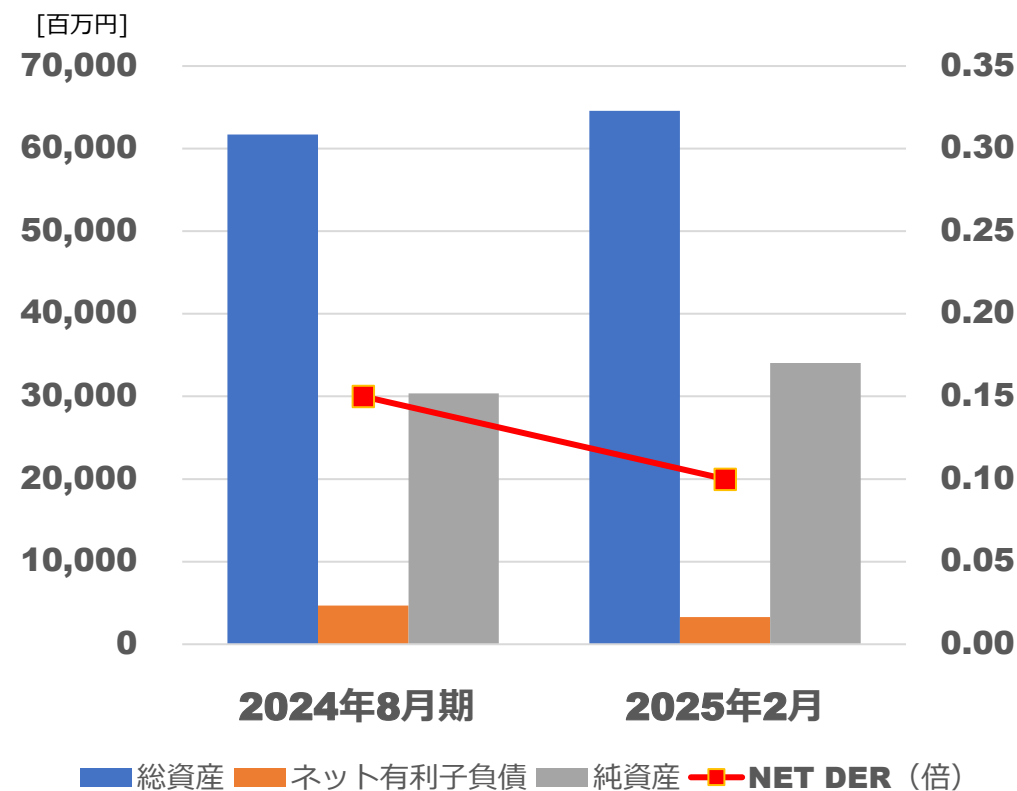
	21/2		22/2		23/2		24/2		25/2	
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比
売上高	536	-	437	-	717	-	434	-	442	-
売上原価	570	106.3%	470	107.6%	710	99.0%	451	103.8%	402	90.8%
売上総利益	△34	-	△32	-	7	1.0%	△16	-	41	9.2%
販管費	23	4.3%	13	3.0%	23	3.2%	23	5.4%	24	5.4%
営業利益	△58	-	△46	-	△15	-	△39	-	17	3.9%

財政状態・キャッシュフロー

財政状態

(単位：百万円)

	2024年8月期	2025年2月	増減
流動資産	11,903	12,651	+749
固定資産	49,811	51,911	+2,100
総資産	61,714	64,563	+2,849
流動負債	13,975	12,635	△1,341
固定負債	17,384	17,887	+502
純資産	30,354	34,041	+3,687
ネット有利子負債	4,664	3,295	△1,369
自己資本比率	49.2%	52.7%	3.5%pt上昇
NET DER (倍)	0.15	0.10	0.06改善
ROE (2Q累計ベース)	14.4%	9.7%	4.7%pt低下

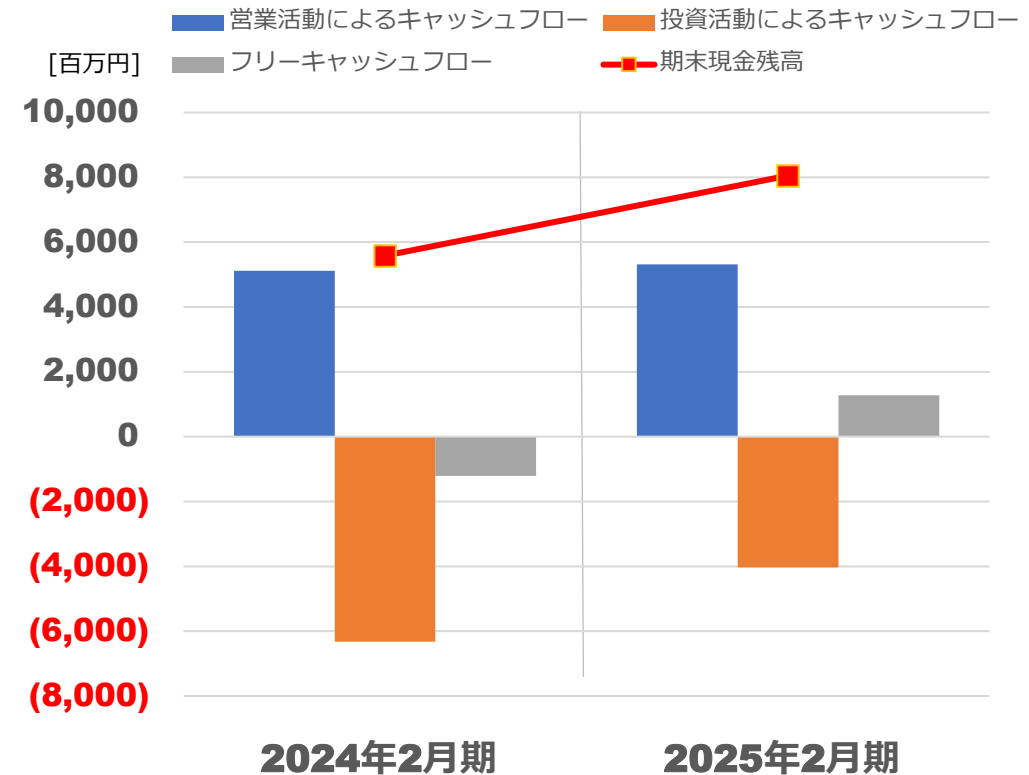


積極出店を継続し固定資産中心に総資産が増加
 一方、純利益と新株予約権の行使で純資産が増加、転換社債も減少し、NET有利子減少。
 純資産増と、有利子負債減で、DERはさらに低下。
 純資産増加、純利益減益でROEは4.7%pt低下。

キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	2024年2月期	2025年2月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,118	5,315	+197
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,325	△4,035	+2,295
(フリー・キャッシュ・フロー)	△1,207	1,280	+2,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,062	54	+1,117
現金及び現金同等物の期末残高	5,582	8,050	+2,468



営業キャッシュ・フローで、積極出店投資を賄う構図は変わらずも、フリー・キャッシュ・フロー分現金残高が増加。
(2024年8月期末からの現金残高増加額は1,314百万円)

2. 2025年8月期 業績予想

【2025年8月期 業績予想】

通期業績予想

（単位：百万円）

項目	2024年8月期 実績	2025年8月期 通期予想	前期実績比	
			差異	増減率
売上高	63,263	71,057	+7,793	+12.3%
営業利益	10,164	11,578	+1,414	+13.9%
（売上高営業利益率）	（16.1%）	（16.3%）		
経常利益	10,934	11,536	+601	+5.5%
（売上高経常利益率）	（17.3%）	（16.2%）		
親会社に帰属する 当期純利益	6,735	7,499	+763	+11.3%
（売上高当期利益率）	（10.6%）	（10.6%）		
1株当たり 当期純利益（円）	82.70	91.26	+8.56	+10.3%

■ カラオケ事業

- ・既存店では客数軸に増収確保想定。
- ・2024年8月期新店(51店舗)のフル寄与分、2025年8月期新店分が上乘せに
- ・生産性改善により、給与水準引上を吸収し、利益率を維持

【ご参考】

Advantage Advisorsに発行した新株予約権及び転換社債は2024/3/15以降行使・転換が可能。同社との資本事業提携は継続
2025年8月期第1四半期中に転換社債10億円分を転換、潜在株数は2024年8月期末:10,387,936株 @675円から8,906千株に減少

【 2025年8月期 業績予想（セグメント別） 】

セグメント別通期業績予想

(単位：百万円)

項目	2024年8月期 実績	2025年8月期 通期予想	前期実績比
			差異
売上高	63,263	71,057	+7,793
カラオケ	61,246	68,747	+7,500
不動産管理	1,585	1,900	+315
その他	863	909	+45
調整額	△ 431	△ 499	△ 67
営業利益	10,164	11,578	+1,414
(売上高営業利益率)	(16.1%)	(16.3%)	
カラオケ	11,493	12,778	+1,284
(売上高営業利益率)	(18.8%)	(18.6%)	
不動産管理	109	266	+157
(売上高営業利益率)	(6.9%)	(14.0%)	
その他	△ 37	31	+68
(売上高営業利益率)	(-)	(3.4%)	
調整額	△ 1,401	△ 1,496	△ 95

【2025年8月期 配当方針】

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と認識しており、EIP(※1)実現や次の成長の柱を創出していくことで事業の更なる成長と資本効率の改善等に取り組み、中長期的な株式価値向上とともに、継続的な配当を実施していきたいと考えております。

具体的な配当水準については、既存・新規事業への再投資規模等を勘案し、配当性向水準の中期的な継続的上昇を念頭に、都度決定することと致します。

- 当期につきましては、前期期末配当金から半期1円増配し、中間・期末各12円の、通期24円配当を予定

1株当たり配当金／配当性向

(単位：円)

	19/8期	20/8期	21/8期	22/8期	23/8期	24/8期	25/8期 (予想)
中間	6.0	8.0	2.0	4.0	5.0	7.0	12.0
期末	6.0	4.0	2.0	4.0	7.0	11.0	12.0
年間	12.0	12.0	4.0	8.0	12.0	18.0	24.0
配当性向	15.7%	-	-	17.9%	13.8%	21.8%	26.3%

株主優待の配布(優待権利確定月：8月)

必要株数	優待内容	
100株以上	3年未満保有株主	2枚 / 2,000円相当
	3年以上保有株主	4枚 / 4,000円相当
400株以上	3年未満保有株主	5枚 / 5,000円相当
	3年以上保有株主	10枚 / 10,000円相当
1,000株以上	3年未満保有株主	10枚 / 10,000円相当
	3年以上保有株主	20枚 / 20,000円相当

※株主優待券は日本全国の「カラオケまねきねこ」、ひとりカラオケ専門店「ワンカラ」、温浴施設「まねきの湯」で利用可能。1回の会計で最大5枚まで利用可能、かつ、他のサービス券との併用可。

株式会社コシダカホールディングス

東証プライム（証券コード2157）

本資料は、2025年8月期第2四半期の決算数値をもとに、企業情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2025年4月10日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点における当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告無しに変更される可能性があります。

本決算に記載されている当社および当社グループ以外の企業や業界等にかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。